

～民生委員になって～

笠間市友部地区民生委員児童委員

北村 陽子

昨年12月から、民生委員・児童委員となり矢庭に動き始めました。

前任の方と「独り暮らし高齢者ふれあい訪問事業」で訪問し、お顔合わせが出来安心いたしました。

毎月の定例会では、学んだり、教えられたり、いっぱい、いっぱいです。月毎の配

食は次第に馴染んでお話し出来、お元氣のご様子を伺えて嬉しいかぎりです。初めての研修（グリーンハウスひたちなか）や、写真展（友部展）は、穏やかな一日となりました。

なかでも、5月定例会の「個別計画」作成は、1ヶ月を要しました。まず、「見守り支援調査協力をお願い」をコピーし、区長さんに回覧をお願いしました。暑くなる前の6月中に訪問する（お電話でお伺い）と決めて、その際には、二つのチラシ“民生委員はつなぎ役”と“熱中症

予防のために”もお配りしたいと思いました。お会い出来ないときには、ポストに入れさせていただきます。その折には、みなさまからの温かなご支援のお言葉をいただきまして、本当にありがとうございます。

8月の研修会は、「地域包括支援センターの業務」で、「明日へつなぐノート」が紹介されました。これから社会福祉課と連絡、ご指導をいただき“つなぎ役”として、皆様の一助となれば幸いです。平穩であることを何よりも願って、ご挨拶とさせていただきます。



配食サービス：手描きの掛紙

北川根小学区民生委員・児童委員

【担当区域】

横木 守	旭丘団地、住吉団地、みどり野団地
布施谷智恵美	旭団地、西協、長野、グリーンウッド
澤 正博	曙団地、西原、西原住宅班、コンフォートタウン西原
打越 安洋	石沢、長兎路全区
野口 節子	住吉本宿、白百合
古山 均	住吉新宿、湯崎、田向
枝川 良雄	随分附本郷、笠松、東原
北村 陽子	柏井、柏井団地、旭丘、仁古田全区、南ヶ丘団地

第20回北川根杯 ゴルフ大会

5月29日（金）、第20回北川根杯ゴルフ大会が桜ノ宮ゴルフ倶楽部で開催され、各地区から老若男女48名の方が参加されました。

昨年同様、前半のハーフ（9ホール）での競技となりましたが、和氣あいあ

◆ゴルフ大会の結果◆

【個人戦】

優勝	萩原淳一	（随分附）
準優勝	山口幸雄	（随分附）
第3位	小沼平	（住吉）
第4位	柴田浩史	（湯崎）
第5位	塙恭平	（長兎路）

【団体戦】

優勝	随分附
準優勝	湯崎
第3位	住吉

【個人賞】

ベストグロス賞 萩原淳一（随分附）

な運営ができ、社協北川根支部の支援を頂き、親睦・交流を深める大会となり、目的を達成したものだと思われま

（代表幹事 岡田 一幸）



いの中に、も各地区の代表として、真剣なプレーが展開されました。地区幹事の方々の協力、スムーズ

笠間市立北川根小学校

笑顔があふれ、明日が待たれる学校づくり

北川根小学校では昨年度まで行われていた大規模改修工事が終了し、子どもたちはきれいになった校舎で様々な経験を積み重ねています。

満開の桜の中入学した1年生のまだ慣れない学校生活を優しくサポートする上級生の姿が見られたり、運動会では、一生懸命練習し各種競技に臨み、みんな笑顔で元気に活動したりと、子どもひとりひとりが努力や協力することの大切さを実感し、大きく成長することができました。

また、スナッグゴルフ部の活動において、地域の指導者の協力、全校児童からの応援を受け、見事スナッグゴルフ対抗戦森ビルカップで優勝



新入学生を迎えて

することができました。

学校運営協議委員会を中心に登下校時の見守り、校内の環境整備、学習補助、行事のサポートなど地域・保護者の協力を仰ぎ、様々な体験活動の充実を図っています。

北川根小の子どもたちは、学習に運動、行事にと多くの場面で協力し、助け合いながら元気に成長しています。

今後「笑顔があふれ、明日が待たれる学校づくり」という目標の実現に向け、学校・保護者・地域が一体となり、子どもたちの成長を支援していきたいと思えます。



北小オリンピック



授業の様子（国語）

笠間市立友部第二中学校
魅力ある学校づくりに向けて

部 今年度の前半、友
動 に意欲的に取り組
み ました。
一 人が自分たちの活
動 を真剣に考えて取
り 組んだ生徒総会で
す。 三年生を中心と
した、しつかりとし
た 発言の態度には、
それだけの成長を感
じ ました。また、真
剣 に取り組む姿勢に
は、二生としてのの
誇 りを垣間見ること
が でき、とても貴重
な 時間となりました。
を 次は、全学年で心
体 育祭です。実行委



生徒総会

員を中心に話し合いや練習に熱心に取り組み、当日を迎えました。大きな行事を通して、一人一人が成長しました。

また、総体や新人戦、そして吹奏楽コンクールなどの部活動では、仲間とともに全力で取り組み、嬉しさや悔しさ、そして感動をそれぞれ味わうことができました。

最後は授業についてです。本校は昨年度から授業一コマの時間を四十分とし、裁量の時間を設けています。この時間を「チャレンジタイム」とし、自主的な学習や特別活動などの時間に充て、取り組んでいます。

今後、様々な活動や工夫した学習の場を設けることを通して生徒の成長を促す「魅力ある学校づくり」に努めてまいります。

わが地域

26

「住吉小学校跡地の碑」

教育に力を注いだ

先人たちの思いを記す

「明治五年に学制が發布された。三割にも満たない就学率にその必要性を感じ、住吉村独自で小学校を建設、運営し教育に力を注いだ先人たちの思いを後世に伝えるためこの碑を建立する：」と、沿革碑の前文にその趣旨が記されています。

跡地の碑は、令和5年2月に有志一同により建立されました。碑に記された記述により「住吉小学校」の



沿革を紹介します。

・明治六年（一八七三）五月

新民小学校（後の押辺小学校）の出張校設置。程なく「住吉小学校」と改称。

・明治七年（一八七四）一月

長兎路村に安居小学校の出張校設置。後に「長兎路小学校」に改称。

・明治十年（一八七七）一月

前年暮れの校舎焼失により、長兎路小学校に合併。翌年、山王神社跡地の立木を売却し、学校建設資金に充てる。

明治十六年（一八八三）三月

山王台に校舎を新築し、住吉小学校を復興。

・明治十九年（一八七六）

住吉、湯崎、長兎路、仁古田、柏井、随分附、土師、押辺、安居の9ヶ村が長兎路小学校に統合されるが、住吉、湯崎、土師、安居の児童は住吉小学校に通う。

・明治二十一年（一八八八）一月

9ヶ村連合組合により校舎新築。「長兎路尋常小学校」と改称され、全村児童が通学する。（住吉小学校閉校）

・明治二十二年（一八八九）六月

住吉、湯崎、長兎路、仁古田、柏井、随分附の6ヶ村が合併し北川根村が成立。「北川根村尋常小学校」「北川根小学校」へと続いていく。

(枝川良雄)

地区の行事に思う
お田植祭の開催

長兎路地区

7月になると、以前は隣地区などから太鼓の音が聞こえてきて、夏祭りの行事が始まる時期になったなと思えたものです。

しかし、現在は、少子化の関係、行事に対する消極的な姿勢の人が増えたためか、夏まつりが地区から消滅しつつあります。

そのような中で、私の地区（長兎路）では、川根を一望できる絶景の地、下長兎路堂上に建立されている薬王院（本尊薬師如来）の薬師本尊が地区の安らぎと連帯感につながる

と毎年7月（旧暦6月）に境内にてお田植祭を開催しています。

以前地区を練り歩いた子供会の御神輿は、少子化の関係から境内で行っています。子供会の保護者、組総代、社協推進



員さんが綿あめ・焼きそばなど屋台に協力し、構造改善センターで祭りを

盛りあげたい。子供たちも景品もいたで笑顔をみせていました。



今年も防団員さんも消防車に参加され、子供たちに消防席にのサイレンや放送などを運転席に薬王院の本堂に安置された薬師本尊が区民の幸福を願う、区民もその尊いお姿に手を合わせ一家の幸せを願う、相互の信頼がより高まり区民の心より所となるお田植祭、地区に居住する多くの方の参加する行事、今後も継承していったほしいものです。

（※文章の一部「北川根支部だより」128号わが地域長兎路地区」より使用）

(長兎路地区 鈴木 裕)

編集後記

10年前に大地震、震度7。千葉・石川・富山・福井等々の大雨、その後も全国で次々に水害が発生。トランプ大統領のイラン攻撃・国際司法裁判所への圧力。ヒマラヤの水河・岩盤の崩落に伴う土石流。内外ともに難題山積（藤森）